



令和7年度 可児市立土田小学校
【学校教育目標】たくましく生きる土田の子
あたたかく かしく ねばりよく



土田小オリジナル
キャラクター【はとみん】

はとぶき

10月号

『礼に始まり 礼に終わる』

史上最年少でプロ棋士になるなど、様々な最年少記録を塗り替えている藤井聡太さんの活躍は今でも時々話題になります。将棋に関心がある方も大勢みえるでしょう。

将棋では、勝っても勝者は喜びを表しません。投了になったら、互いに盤をはさんで礼をするのみです。スポーツでも将棋と同様に喜びの気持ちを抑え、静かにお互いに礼をするというケースもあるようです。

少し前のことですが、令和3年の全国高等学校野球選手権大会で優勝した智弁和歌山高校は、優勝を決めた後、マウンドに集まって歓喜の輪を作らず、すぐに整列しました。同校の主将は「礼に始まり礼に終わるということで、すべて終わってから喜ぼうと思っていた」と語っており、相手を尊重する姿勢がうかがえます。

私たちは日頃から多くの人と関わる機会がありますが、その際に、相手を尊重し、感謝の気持ちをもって接することで、良好な関係が築けるのではないのでしょうか。



「相手を尊重する」それは集団で学ぶ学校において、子どもたちに身につけてもらいたい心の有様です。そのためにも私たち大人が、子どもの声に耳を傾け、何を考えているのか想像する姿勢をもちたいものです。これは、身近な関係においても大切です。例えば家族の中で、近所の人との間で、職場の同僚に対して、保護者と教師の間で…相手の立場や考えに思いを馳せることで、互いに尊重し、感謝しあうことにつながります。

ポイントは、『寛容な心』だと思います。決して簡単なことではないかもしれませんが、しかし、いつも忘れずに心がけていたいと思っています。

校長 千葉 智治